

---

ヒートアイランド現象（Heat Island）にあえぐ都会を冷やしたい。打ち水やドライミストなど、さまざまな対策がとられてきた。屋上緑化もその一つ。芝がよく使われてきたが、新たにサツマイモが実験栽培されている。サツマイモは、葉が大きく幾重にも重なっているため、周辺から大量の熱を吸収することに加え、日照りや干ばつ、風や雨など環境の厳しい所でも育ち、病気にも強いことから選ばれた。

実験の結果、サツマイモは、太陽の熱エネルギーの80%を吸収し、芝の1.5倍にあたる水分を蒸発していることがわかった。これにより屋上の温度は、コンクリートがむき出しの部分では、最高で55℃まで上昇したのに対し、サツマイモを栽培した部分では28℃までに抑えることができ、有効な対策と確認された。秋には、「イモの収穫」のおまけつき。